

IBC (アイス・バケツ・チャレンジ) グラント

平成 27 年度 患者等支援活動助成

事業終了報告

事業名

「南海トラフに備えた災害弱者避難訓練協議会」

～日本 ALS 協会災害対策委員会を

サポートする活動チーム～

事業代表者名

山中賢治

助成金額

300,000 円

①活動実施内容：中間報告・終了報告ともに必須

(助成事業の具体的な活動実施内容、事業の成果等について経過を追って記載してください。)

- ・平成 27 年 9 月 6 日
平成 27 年度「南海トラフに備えた災害弱者避難訓練協議会」を JALSA 災害対策委員会と合同開催した。
全国電話アンケート調査にて「地域間格差が発生しない公助支援体制の確立」を目指し要望書（案）を作成する。
なお、平成 28 年度総会（平成 28 年 5 月 28 日）にて全支部に会議の記録 CD を配付した。
- ・平成 27 年 12 月 6 日
富士病院 溝口院長に面談し、JALSA 災害対策委員会と協力し ALS 患者個別支援の在り方を話し合うことを約束した。H26 実施の災害アンケート結果をいただきました。
- ・平成 28 年 5 月 29 日及び平成 28 年 9 月 4 日、
JALSA 災害対策委員会（JALSA 理事のみによる）では、熊本地震を検証し今後の課題が整理された。
特に、安否確認の方法としては、
JALSA 会員名簿について、災害対策委員会、ブロック担当理事への開示を決定した。
- ・保健所の役割の具現化と災害弱者の把握方法について提案する。
平成 28 年 8 月 31 日、
愛知県清須保健所「人工呼吸器装着中の ALS 患者の避難訓練について」での山中会長の講演を参考にして、全国保健所に、個別支援計画（避難訓練の必要性）を呼び掛ける。
- ・1 分講話集「もしもの時・・・？」作成。
患者家族、行政、支援者が集まる機会に講話する。

②終了までの予定：中間報告の場合は必須

(助成事業終了までの活動予定等について経過を追って記載してください。)

ご報告済みです。

③事業の成果物と終了後の計画：終了報告の場合は必須

(事業終了の成果を今後の活動にどのように活かすのか、できるだけ具体的に記載してください
成果物について記載したうえで、報告書に添付してください)

- 1 平成 27 年 9 月 6 日開催
第 1 回 災害対策委員会 (於：国立長寿医療研究センター) の様子、CD
・全国主要保健所電話アンケート調査結果

- 2 平成 27 年 12 月 6 日
富士病院 溝口院長面談
平成 26 年度「全国 ALS 患者さんへの災害対策についてのアンケート」結果

- 3 平成 28 年 8 月 31 日実施
愛知県清須保健所、山中会長講演による、
「人工呼吸器装着中の ALS 患者の避難訓練について」の記録 CD&レジュメ

- 3 平成 28 年 9 月制作
1 分講話集「もしもの時・・・？」150 冊

報告者 氏名 西尾 朋浩

〒456-0068 名古屋市熱田区神野町 1-89-405

連絡先 Tel090-2136-3685 Eメール nishiots@sb.starcats.ne.jp